

機械器具 55 歯科用口腔洗浄器 JMDN コード 12304020
一般医療機器
オサダマルチシリンジ
(MS-S)

【警告】

- 奥まで確実にノズルを挿入してから、先端カバーを閉めること。ノズルを強く引き、抜ける場合はノズルを挿入し直すこと。やり直しても、ノズルが抜けるものは使用しないこと。
[ノズルが口腔内に落下し、飲み込む恐れがある]
- 1 分以上連続で使用する際は、ヒーターを OFF にすること。
[ノズル、締付ナット、固定リングが熱くなり、火傷の恐れがある]
- ヒーターを ON にした状態でエアーの ON-OFF を頻繁に繰り返さないこと。[発熱が大きくなり火傷の恐れがある]
- 0.2MPa 以上のエアー圧では使用しないこと。
[ノズルが抜け、口腔内に落下し、飲み込む恐れがある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



- 全長 : 139 mm
- 質量 : 84 g

2. 仕様

電源電圧	交流 14 V
電源入力	最大 2 A
エアー圧	0.2 MPa (静圧)
水圧	0.15 MPa

※詳細については、取扱説明書 4. 仕様 を参照すること。

3. 使用環境条件

下記条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)

周囲温度	10—40 °C
相対湿度	30—75 %
気圧	700—1060 hPa

【使用目的又は効果】

歯科治療において歯科用ユニットに接続し、以下の治療に用いる。

- 補綴物装着時の補綴物の乾燥及び歯の乾燥・清掃
- 歯切削時の口腔内の清掃及び切削粉の除去
- 歯の処理時の窩洞の乾燥及びストップングの除去時の乾燥
- 診断時の歯の冷却
- 充填時の歯の乾燥
- 印象時の歯及び窩洞の乾燥
- その他、ミラー(歯鏡)の曇り除去

【使用方法等】

1. 使用方法

機器の詳細な使用方法は、使用前に必ず取扱説明書 6. 操作方法を参照すること。

1) 使用前の準備

- ①ノズル(別売り)の取付け
- ②シリンジ本体と握手ケースの接続
- ③ハンドピースとマルチシリンジFホースの接続

2) 使用前の点検

- ①ハンドピースとマルチシリンジFホースの接続確認
- ②シリンジ本体と握手ケースの接続確認
- ③ノズルの保持力確認及び回転確認
- ④注水量の調節及び確認
- ⑤エアーの調節及び確認
- ⑥スプレアの調節及び確認

3) 操作

- ①エアー・注水・スプレー・エアーのオン・オフ

4) 使用後の処理

- ①ハンドピースとマルチシリンジFホースの取外し
- ②シリンジ本体と握手ケースの接続
- ③ノズルの取外し
- ④清掃・保守

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) シリンジ本体と握手ケースを取付ける際は、握手ケース内の水をよく拭き取ること。
- 2) シリンジ本体と握手ケースを取付ける際は、確実にロックされたことを確認すること。
- 3) ノズル溝にゴミ等が溜まったノズルは使用しないこと。
- 4) 規定圧力以下、またはユニットのエアー元コックを閉めたまま使用をしないこと。
- 5) ホットエアー使用後に握手ケースを取外す場合は、ユニットのヒータースイッチを切り、エアーを流してヒーター部を冷やしてから行うこと。
- 6) ハンドピースとマルチシリンジFホースを取外す際は、ユニットのエアー元コック、水元コックを閉めてから外すこと。
- 7) シリンジ本体の着脱が重くなった場合は、水継手Oリングに付属のシリコングリスを塗布すること。
- 8) ノズルはディスposableのサニチップを使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

下記条件にて貯蔵・保管すること。(但し、結露しないこと)

周囲温度	-10—60 °C
相対湿度	10—90 %
気圧	700—1060 hPa

2. 耐用期間

製造出荷の日から、正規の使用方法、保守点検を行った場合に限り 7 年間。(自己認証による)

※ノズルは消耗品です。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【保守・点検に係わる事項】

機器の詳細な保守・清掃・消毒・滅菌方法は、使用前に必ず取扱説明書、保守・清掃・消毒・滅菌マニュアルを参照すること。

1. 清掃・消毒・滅菌

○：適用可 ×：適用不可

	清掃	消毒	滅菌			浸漬
	中性洗剤水拭き	エタノール清拭	EOG滅菌	高圧蒸気滅菌	135℃以下の乾燥工程	7ℓカリ水酸性水エタノール
握手ケース	○	○	○	○	○	×
締付ナット	○	○	○	○	○	×
シリンジ本体	○	×	○	×	×	×

オートクレーブ滅菌上の留意事項

- 1) 握手ケースをオートクレーブ滅菌する際は、必ず締付ナットを緩め、締付ナットと固定リングの間にネジが見えるまで隙間を空けること。（ノズルを付けてオートクレーブ滅菌をしないこと）
- 2) 握手ケースをオートクレーブ滅菌する際は、他のものと一緒に滅菌パックに入れないこと。
- 3) 握手ケースを立ててオートクレーブ滅菌する場合は、ノズルが入る側を上にして滅菌すること。
- 4) オートクレーブ滅菌が終わったら締付ナット、握手ケースは取り出すこと。長時間オートクレーブ機器の中に入れっ放しにしないこと。各部品へのダメージがあり寿命を縮める原因となる。

2. 保守・点検

1) 使用者による保守点検事項

長期保管した場合は、使用前に十分点検を行ってから使用すること。

頻度	点検項目(概略)
使用前	ハンドピースとマルチシリンジFホースを引っ張り、接続確認
	シリンジ本体と握手ケースを引っ張り、接続確認
	ノズルを引っ張り、保持力確認及び回転
	レバーによる注水量の調節及び確認
	レバーによるエアーの調節及び確認
	レバーによるスプレーの調節及び確認
	水切れ・水漏れ確認

2) 業者による保守点検事項

使用者による保守点検事項と同様。
不具合が生じた場合に、点検を実施する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者/製造業者/設計業者

： 長田電機工業株式会社

TEL（本社）： 03-3492-7651

*ホームページ： <https://osada-group.jp/>

取扱説明書を必ずご参照下さい。